



6月 29 日 摂南大学農学部食品栄養学科にて、本市の女性農業者と学生が八幡産の野菜を使って調理実習の授業に参加しました。本市農家の北川小百合さん（写真右）が八幡の野菜について講義し、授業後の学生のアンケートには、「野菜について学べた。」「楽しかった。」などの感想がありました。

目次	会長挨拶、農業委員会の主な仕事・・・2、3	農業者年金 他・・・・・・・・・6
	利用権の手続き・・・・・・・・・4	通水日程、労災保険 他・・・・・・・・・7
	相続届出、各種申請他・・・・・・・・・5	品評会受賞者一覧 他・・・・・・・・・8

令和 5 年度 品評会受賞者一覧

第 13 回 八幡市農産物品評会

河窪 千佳	京都府知事賞（ネギ）
西村 忠雄	八幡市長賞（ダイコン）
中西 正和	八幡市議会議長賞（ホウレン草）
田中 強	山城地域農業振興協議会会長賞（マルダイコン）
古里 治彦	全国農業協同組合連合会 京都府本部運営委員会会長賞（パプリカ）
道本 悟江	八幡市農業委員会会長賞（ハクサイ）
森 正次	京都やましろ農業協同組合組合長賞（キャベツ）
上杉 篤	京都やましろ農業協同組合 八幡市支店運営協議会会長賞（イチゴ）
東川 輝雄	京印京都南部青果株式会社社長賞（ミズナ）



河窪千佳 氏

第 50 回 八幡市農業青年クラブ農産物品評会

松浦 和恵	京都府知事賞（ネギ）
符川 亮	山城地域農業振興協議会会長賞（タマネギ）
上杉 篤	八幡市長賞（トマト）
古里 治彦	八幡市農業委員会会長賞（ホホワイトコーン）
伊藤 晃一	京都やましろ農業協同組合組合長賞（とうがらし）
福田 泰之	京都やましろ農業協同組合八幡市支店運営協議会会長賞（きゅうり）
東川 輝雄	八幡市農業青年クラブ会長賞（コマツナ）



第 46 回 八幡市茶品評会

松田 雅宣	京都府知事賞
石田 貴久	京都府茶業会議所会頭賞
福井 仁司	京都府農業協同組合中央会会長賞
高井 恵子	山城地域農業振興協議会会長賞
菊岡 靖弘	京都府茶生産協議会会長賞
金森 修	全国農業協同組合連合会京都府本部運営委員会会長賞

編集委員

石 梶 西 符 西 猪 長
原 浦 岡 川 川 飼 村
毅 靖 賢 亮 茂 美 信
之 人 治 男 和 幸
子



□ 編集後記
昨年は、一年を通して気温が高く農作物や人にとっても大変な年になり、今年も石川県にて地震が発生するなど自然の脅威を思い知ることとなりました。被災された方には心からお祈り申し上げますとともに本年が皆様にとって少しでも良い一年になる様に願っています。
編集委員 一同

会長挨拶



八幡市農業委員会会長

長村 信幸

この度、八幡市農業委員会の会長に引き続き選任をいただき、更なる八幡の農業繁栄に尽くしていきたいという思いであります。

さて、八幡市農業委員会は、農業委員会制度改正後、3期目を迎え、今期も農業委員14人・農地利用最適化推進委員8人の計22人体制でスタートしました。

令和5年4月から基盤強化促進法の改正、農地法第3条の一部改正など、農業を巡る法制度はめまぐるしく変化しております。

そのような中、当委員会では、八幡市と協力し、地域計画策定に向けた地区連絡会議への参加、農地パトロールなどによる遊休農地発生の防止。担い手農家への農地集積等の活動を引き続き取り組んでまいります。

農業委員、農地利用最適化推進委員共に連携し、一丸となって活動してまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

農業委員及び農地利用最適化推進委員の主な仕事

農業委員会

農業委員

- 総会に出席し、許可等を審議及び現場活動
- 農地の売買・賃借の許可、農地利用集積の決定等の審議
 - 農地転用許可への意見
 - 耕作放棄地の発生防止・解消
 - 地区連絡協議会に参加

連携

農地利用最適化推進委員

- 総会に出席し、意見及び担当地域での現場活動
- 担い手農家への農地利用の集積・集約化
 - 耕作放棄地の発生防止・解消
 - 新規参入の支援活動
 - 地区連絡協議会に参加

農業委員

農地利用最適化推進委員の紹介

令和5年7月20日に市長から農業委員14人が任命されるとともに、農業委員会は農地利用最適化推進委員8人を令和5年8月7日に委嘱しました。

今期3年間、農地利用最適化の推進に向けて頑張っております。

八幡地域

●農地利用最適化推進委員

上野信昭
男山長沢

伊澤 治彦
八幡河原崎

●農業委員

奥村 芳治
八幡土井

●農業委員

猪飼 美和子
八幡高畑

●農業委員

西川 茂男
川口堀ノ内

●農業委員

関東 豊則
下奈良二階堂

●農業委員

北川 邦彦
野尻城究

●農業委員

西村 忠雄
岩田高木

●農業委員

古里 治彦
内里翼ノ口

●農業委員

長村 信幸
内里内

●農業委員

金谷 泰宏
戸津東代

●農業委員

畑中 邦夫
八幡神原

●農業委員

符川 亮
八幡山田

●農業委員

前田 孝文
西山足立

●農業委員

辻 典彦
八幡松原

●農業委員

西川 吉之
美濃山中尾

都々城地域

●農地利用最適化推進委員

金森 一幸
上津屋石ノ塔

山田 晃嗣
岩田高木

關西 保博
下奈良二階堂

有智郷地域

●農地利用最適化推進委員

小里 隆信
内里南ノ口

佐野 富彦
戸津北小路

堀口 雅智
美濃山中尾

令和7年から利用権の手続が変わります！

利用権設定による農地の貸し借りは今まで、相対で話し合いをし、農業委員会に書類を提出することで、行っていました。令和5年4月に法律が改正され、令和7年から相対で話し合いをしたのちに農地中間管理機構（一般社団法人京都府農業会議）を経由する必要があります。このページでは、農地中間管理機構とは？、貸し借りを行うために必要な地域計画とは？ということを説明いたします。

農地中間管理機構とは

農地中間管理機構とは都道府県、市町村、農業団体等が出資して組織されている法人であり、都道府県知事が県に一つに限って指定することで「農地中間管理機構」となります。地域によっては「農地バンク」「機構」「公社」などと呼ばれています。京都府は、一般社団法人京都府農業会議です。

改正農業経営基盤強化促進法（令和5年4月施行）において法定化された「地域計画」に基づき、所有者不明農地、遊休農地も含め所有者等から借受け、担い手等へ貸付を行うといった業務を主に行っ

ています。

地域計画とは

地域計画とは、地域農業の将来の在り方の計画であり10年後の地域農業の設計図です。これまで「京力農場プラン」として市町村が公表してきた計画を基に地域の話し合いの場（八幡市では地区連絡会議）を法に基づき行い、地域の農業を持続させていくための方針と農地の将来の耕作者の計画を立てていく「目標地図」を作成していきます。今年度は八幡、有智郷、都々城の三地区で4回開催し、市内の現在の状況を確認したところです。



農業委員会に申請が必要です！

耕作目的の農地の売買等に伴う所有権移転

●農地法第3条に基づく申請が必要です。

農地を農地以外に転用

●農地法第4条、第5条など申請が必要です。

農地に農作業場等を設置

農地を農作業場や従業員駐車場等として利用を考慮される方は、手続きが必要となる場合がありますので、事前に農業委員会事務局にご相談ください。

※必要書類、各種要件等は農業委員会にご相談ください。

農地への不法盛土にご注意を！！



※田から畑に変更するなど農地に土を入れる場合は、農業委員会の承認が必要となりますので、お考えの方は、農業委員会事務局へご相談ください。



「田んぼに土を入れて畑に変えませんか？」「無料で土を入れますよ！」などと甘い言葉で、農地所有者に近づき、廃棄物混じりの土砂などを山積みされる被害が発生しています。

その結果、所有者が原状回復するよう業者に伝えても、元に戻されず、農地所有者自身が多額の費用をかけて、撤去することになりかねません。

農地を相続したときは届出を！

農地を相続等により取得した方は農業委員会まで届出の義務があります。

「必要書類」

- ・農地法第3条の3第1項の規定による届出書（農地の相続等の届出書）
- ・相続登記済みの登記簿謄本または遺産分割協議書の原本

「提出時期」

- ・農地の相続等を受けた時点からおおむね10ヶ月以内

※農業委員会では、相続した方が地元を離れていて、自分では手入れができない場合に、農地の管理についてのご相談や、地元で借り手を探すなどのお手伝いをします。詳しくは、農業委員会事務局にお問い合わせください。



1 地域農業について現状確認

- ・誰が耕作しているか。
- ・農道や水路の状況
- ・現状の状況を地図に（現況地図の作成）



2 今後の農地利用意向確認

- ・現状を踏まえた今後の営農について
- ・後継者や担い手集積を踏まえた話し合い。
- ・地区連絡会議



3 話し合い等を踏まえて

- ・現状、将来など踏まえた上で目標地図素案の作成



4 農地中間管理事業の利用を促進

- ・地図及び話し合いを踏まえて地域計画作成
- ・地域計画に関連し、今後補助金の交付を受けれる場合があります。



令和 6 年度の通水日程について（お知らせ）

※下記日程を厳守してください。

区分	A 日程 ボーリングポンプ 苗代用	B 日程 ボーリングポンプ 田植え・代掻き用	C 日程 木津川揚水ポンプ 田植え・代掻き用
岩田	5 月 1 日	戸 津 6 月 5 日 戸津以外 6 月 8 日	戸 津 6 月 5 日 戸津以外 6 月 8 日
川口	5 月 1 日	6 月 8 日	6 月 5 日

※A日程ポンプによる用水は苗代以外の用途には絶対に使用しないようお願いします。
 ※苗の申込みに関するご質問は JA 八幡市支店までお願いします。
 ※その他ご質問は各地区実行組合若しくは連合会（TEL.971-0255）までお願いします。
 ※各日程とも終了日は 10 月 15 日です。
 ※C日程戸津向けは盛戸と舞台の一部を含みます。

八幡市農家実行組合等連合会

農業経営に安心を備える

収入保険に加入しませんか？

自ら生産した農産物の販売収入全体が対象です。
 ※詳しくは、京都府農業共済組合山城支所へ
 TEL：0774-62-8611

農作業中の事故への補償

労災保険「特別加入制度」

加入保険料の一部を八幡市が助成しています。
 ※詳しくは、JA 京都やましろ八幡市支店へ
 TEL：075-981-1315

先進地視察研修（11月21日～22日 岐阜県瑞穂市ほか）
 農業委員・農地利用最適化推進委員が岐阜県瑞穂市、愛知県長久手市を訪れ、視察研修を実施しました。
 瑞穂市農業委員会では、市の農地全体の約26%で中間管理を介した利用権設定をされており、その多くを大規模担い手に集積されています。令和7年度からは、中間管理を介した利用権設定に全面移行しなければならぬため、事務手続きや農家への周知等の課題について意見交換、地域計画策定にむけた現況地図の整理・目標地図作成に関した課題についても議論しました。
 同市内の農業法人では、レタス水耕栽培の施設を視察し、人によるバラつきを減らすための標準化の取組みなどをお聞きました。
 愛知県長久手市の愛知県農業総合試験場では、愛知県の農業についてと野菜研究室で、トマト、ナス、

先進地視察研修会を実施

農業委員会活動



イチゴ栽培のハウスなどの施設を視察し、研究内容の説明を受けました。
 それぞれの視察先で、当市の委員からも積極的な発言や質問がありました。
 農業委員会では、この視察研修を生かした最適化活動、地域計画策定の基となる目標地図の作成に引き続き取組んでまいります。地域計画策定や策定後の中間管理事業による利用権設定への移行にもご協力をお願いします。

農業者年金に加入しましょう！

3つの要件を満たせば

20 歳以上
65 歳未満

60 歳以上は国民年金任意加入済保険者が対象

国民年金
第 1 号
被保険者

保険料免除者を除く

年間60日以上
農業に従事

どなたでも加入できます

農業者年金は、農業者が安定した老後生活を過ごすことができるよう国民年金に上乗せをする公的年金です。少子高齢化時代に強い「積み立て方式（確定拠出型）」で自分が積み立てた保険料とその運用実績により、将来受け取る年金額が決まります。

公的年金なので、その年に支払った保険料の全額が所得税・住民税の「社会保険料控除」の対象になります。

ご相談は、農業委員会事務局、または JA 京都やましろ八幡市支店でお受けしています。

- 加入の要件 ①20 歳以上、65 歳未満である国民年金の第 1 号被保険者で、国民年金保険料の免除等を受けられていない方。（一定の要件を満たす必要があります。）
 ②年間60日以上農業に従事している方

以上の要件を満たす場合は、誰でも加入できます。ただし、加入の時点で国民年金基金に加入している場合は、農業者年金に加入できません。

- 保 険 料 保険料は、月額 2 万円を基本とし、6 万 7 千円まで千円単位で選択出来ます。また、保険料はいつでも増額・減額ができます。（35 歳未満の方は、一定の要件を満たせば月額 1 万円から加入できます。）農業者年金に加入した場合は、農業者年金の保険料とあわせて、国民年金の付加保険料（月額 400 円）の納付が必要となります。

- 80歳までの保証つき
 年金は終身年金で、生涯支給されますが、仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、80歳まで受け取れるはずであった年金額に相当する金額が、死亡一時金として遺族に支給されます。（年金受給開始を、農業者老齢年金は 65 歳以上 75 歳未満。特例付加年金は 65 歳以上に選択肢がふえました。）

詳細、要件については、八幡市農業委員会もしくは JA、農業者年金基金にお問い合わせください。

全国農業新聞を購読しませんか！

農業経営と暮らしに役立つ情報が満載です。

お申し込みは
 農業委員会事務局へ
 (TEL.983-5621)

- 発行 毎週金曜日
- 購読料 月額700円

私も農業者年金に加入しています！

親族の方に誘われて加入しましたが、公的年金で安心であり、節税ができることも魅力です。思い通りにいかない農業と同じく将来も不安が多いので、元気なうちに加入することをおすすめします。



山田修嗣さん